

鐵輪 80周年特別号

鐵輪 宮崎精鋼株式会社 名古屋市 中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191

宮崎精鋼創業80周年・労働組合結成50年記念 社内式典開催

7月13日(金)、ホテル花水木コンベンションホールにて、宮崎精鋼創業80周年・労働組合結成50年記念 社内式典が盛大に行われました。

最初に、創業80周年を記念し作成されたDVD上映が始まり、宮崎精鋼の長い歴史が会場のスクリーンに投影され、上映後には大きな拍手が起こりました。

続いて、社長が挨拶をされました。要旨は以下の通りです。

80周年記念式典を迎えるにあたり、皆さんに会社の歴史をご紹介しますと、宮崎精鋼は最初、金山地区で、精米業として始まりました。その後、昭和13年8月に鉄鋼業に転業、鉄鋼需要は旺盛で順調なスタートを切りましたが、第二次世界大戦で金山・丸米町の工場が焼失してしまいましたが、三重県の疎開工場での操業を経て、昭和24年から現在の丸米町で再稼働をすることが出来ました。



社長挨拶の様子

その後、父、清三郎の命により大学を卒業し入社間もない宮崎俊則前社長が最新の引抜技術と機械の調査をするためにヨーロッパへ出張し、それをきっかけにドイツのシュマーグ社製連続引抜機の導入が決定しました。生産性が従来の10倍以上となり、当社にとっての大きな転機の一つとなりました。

創業35年となる昭和48年には、宮崎清三郎初代社長から宮崎俊則前社長へ引継ぎが行われました。俊則前社長は非常に積極的な方についていくのが大変でしたが、その積極性があるからこそ、ディスクレータ開発など会社の発展につながりました。その他、実現こそしませんでした千葉に冷間圧造用鋼線の工場建設の計画が持ち上がる等、様々なことがありました。昭和57年には俊則前社長が急逝し、翌年から私が社長に就任しました。それから36年が経過し、非常に感慨深く思います。

ここまでこれたのは、社員・OBの皆様の叱咤激励があっただけです。又労働組合におかれましては、結成50年おめでとうございます。労使一体となって、ここまでやってこれたと思っています。また、宮崎精鋼の社史が本日完成しました。会社の歴史を振り返りつつ、更に未来に向けてチャレンジしていきましょう。

そして実は、ここまで36年続けてきた社長の座を、息子の宮崎元伸事業部長に譲る予定でいます。8月末の株主総会で正式に就任する予定です。

最後に、我々の目標は変わらず、世界トップの特殊鋼棒線二次加工メーカーになることです。そこに向かって皆さん一丸となって頑張りましょう。

